



(本社)

株式会社キンダイ

大阪府泉佐野市

キンダイは 近代的な技術で 世界を変えていく

一九四五年創業、当社は大阪府泉佐野市に位置する自動機器開発メーカーです。ミシンのオートパーホルの依頼を発端に、「自社独自のミシンを作りた」という志で家庭用と工業用ミシン製造販売から始まったキンダイの歴史。長年の研究を重ねて、タオ工業界向けの自動縫製機を日本初で開発しました。この自動縫製機は、約一三〇年の歴史を誇るタオの発祥地「泉州タオール」と世界のブランド「今治タオール」を今日も支えております。

さらに、繊維縫製業界が発展途上である東南アジア諸国や欧米にも数多く自社製機を輸出しました。自動縫製機だけでなく、ニットも独自の丸刃で丸コネクティブも独自技術で開発し、常に新しい製品を作り続ける商品開発力は、さまざまな業界で卓越。その商品開発力ならびに技術力は世界各国で認められています。

◇御社の歴史を教えてください。



営業部 寺内 亮さん

◇「ものづくり」へのこだわりを教えてください。

メーカーとして耐久性の良い製品を作ることは重要ですが、キンダイ製品は仕様や環境が異なる幅広い条件下で使用されるケースが多いだけに、納品して終わりではなくアフターサービスこそがお客様と長いお付き合いになる「新たな始まり」だと考えています。これがトッピングエアーNo1を誇る製品を製造販売するキンダイのこだわりであります。



(高速全自動ロールスリッター)

また、社歴の長さはお客様との信頼関係があってこそ成り立つものであり、キンダイでは唯一無二の財産です。その財産は世界中のお客様に親しまれている「KINDAIブランド」の確固たる礎になっております。先人たちが長い年月をかけて積み重ねてきた「KINDAIイメージ」を受け継ぎ、未来へ繋げることが今日のキンダイの大切な使命。長い歴史の名に恥じることない使命感を持ち、信頼できる自動機器開発メーカーとして「近代ものづくり」を日々行っています。

修了生の声 (CAD・生産サポート技術科)

令和3年1月修了 中井翔己 さん



ポリテクセンターでは機械と経理の基礎を学ぶことができました。

入社して暫く経ち、現在の仕事は機械設計を中心に、機械部品の検品や組み立て、試運転調整から出荷まで多岐にわたっています。

日々色んな側面から機械と向き合っていて、製品について理解を深めていくことを心がけています。今後はお客様の希望に寄り添った使いやすくて安全性の高い製品の開発、改良に技術者として関わっていきたくです。

訓練生の皆さんへ。全く経験のない異業種について一週間だけでも学べるチャンスは社会人になると中々ありません。新鮮な気持ちと好奇心で授業に臨んで欲しいと思います。

◇人材育成について教えてください。

「近代的な技術で世界を変えていく」ためには、「ものづくりの全ての工程」を理解する必要があります。営業、技術設計や製造技術等、各業の担当は決まっていますが、各部門が連携し、全てのキンダイスタッフが完成機械を共有して作業することで、メーカーに必要な「ものづくりの全ての工程」を理解することができま。当社の一番の強みである設計開発からアフターサービスまでのトータルサポートができるようになるために、ものづくりの上流から下流までの全体を通して一貫した流れをベテランの従業員がマンツーマンで指導します。例えば、設計担当からは設計業務を主体とし、そこから加工や機械の部品組立、試運転調整、品質検査、メンテナンスなどのものづくりの現場を自身の肌で体験することで、設計に必要なスキルにフィードバックされていきます。一日でも早く世界で通用する技術者に成長できるように、社内教育体制を整えております。

◇ポリテクセンターから採用した感想は？

ポリテクセンターの訓練生は、自らチャレンジする向上心が違うと採用して肌で感じました。この業界の経験が全く無い人材が半年間の訓練で、メーカーに必要な設計や部品加工だけでなく表計算から会計業務等の「ものづくりの全体の工程」を経験されており、応用的な技術や知識は入社後に指導していきますが、このような基礎知識を身に付けている訓練生は非常に高く評価しています。

◇ポリテクセンター和歌山に期待することは？

「近代的な技術で世界を変えていく」という向上心の溢れる人材をこれからもポリテクセンターから採用したいと考えております。自動機器開発メーカーに必要なスキルは、設計開発からアフターサービスまでの全ての工程を理解することです。ものづくりに大切な基礎的な知識を全般的に教育していただければ、より実践の場に入りやすくなりますので、ご指導よろしくお願ひ申し上げます。